脱炭素化

脱炭素チャレンジインフォメーション vol.4

本町は、令和5年3月に脱炭素のまち宣言を行いました。
町民の皆さんにも取り組んでいただけるよう、定期的に情報をお届けします。

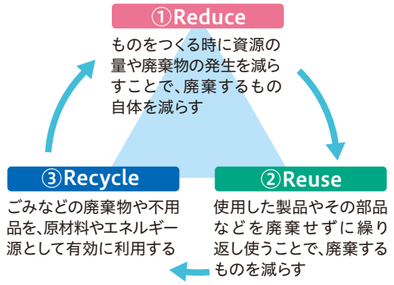
LINEのチャットボットがごみの分別方法を自動でお答えします！

「飯南町公式LINEアカウント」を友だち登録していただき、分別の際にぜひご活用ください！

3Rについて考えてみよう！

3Rとは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の頭文字を取った3つの環境に配慮した行動の総称です。3Rには優先順位があり、リデュース⇒リユース⇒リサイクルの順に実践していきます。

ごみを出す前に、まずは3Rを取り組むことで、少しでもごみ・CO_2（二酸化炭素）削減を目指しましょう。



今日からできることを始めよう！

●食品ロスをなくす
・買い物前に家にあるものを確認し、必要なものだけを買う
・食べきれる量の料理を作る
・飲み会や懇親会等での食べ残しを減らすため、自席で食事する時間を設ける
【CO_2削減効果】
家庭と外食の食品ロスがゼロになった場合⇒年間で1人あたり54kg削減

●マイバッグ・マイボトルの利用
・買い物時はマイバッグを持参し、レジ袋の利用を断る
・外出時にはマイボトルで飲料を持参する
【CO_2削減効果】
マイバッグを利用した場合 ⇒ 年間で1人あたり1kg削減
マイボトルを利用した場合 ⇒ 年間で1人あたり4kg削減

●リサイクルの徹底
・資源ごみ（ビン・カン、古紙）の分別を徹底する

みんなでつくる！

笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

第10回 10年後、どんな地域に暮らしたい？

5月号より「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域の取組や地域おこし協力隊の活動を紹介してきました。
自分の暮らす地域のあり方を考えたり、この町の魅力を考えたりするきっかけとなったのではないでしょうか。

これまで紹介したテーマ

［6月号］	自主防災組織とまちあるき
［7月号］	「楽しさ」で周囲を巻き込む
［8月号］	ボランティアによる声がけ訪問
［9月号］	飯南の食の魅力
［10月号］	誰もが集える交流の場づくり
［11月号］	高齢者サロンの運営
［12月号］	地域の一体感を生む工夫
［1月号］	立場や年代を超えた取組

各号のレポートから、地域づくりを進めるポイントが見えてきました。「地域づくり」は、困りごとや地域課題を解決するだけでなく、住民が安心して、生き生きと生活できる環境づくりです。楽しいことや、関心のあることをきっかけに、住民が顔を合わせ、話ができる関係性を築くことが大切です。

志々地区の声かけ訪問隊の皆さん（8月号より）

レポートから見えてきた ここがポイント

●地域で安心して暮らし続けるには、住民同士の支え合いが大切
●「楽しさ」「興味のあること」でつながり、住民交流を深める
●子どもからお年寄りまで、多様な年代が関わり、活躍する場をつくることが大切

healthycolumn

健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院便り

飯南町立飯南病院開設50周年記念式典を通じて

飯南町立飯南病院
院長
角田（すみた） 耕紀（こうき）

令和6年12月7日、飯南町立飯南病院開設50周年記念式典が開催され、多数の関係者の皆様とともに飯南町の医療の歴史を振り返る貴重な機会となりました。

旧頓原町では昭和35年に頓原町母子健康センターが開設され、これに併設される形で翌年に頓原診療所が開設されました。飯南病院の起源は、昭和49年頓原診療所から頓原病院となった時代にさかのぼります。それから50年。平成12年には現在の場所に頓原病院が移転新築され、平成17年に赤来町、頓原町の合併により飯南町が誕生したことにより飯南町立飯南病院となりました。

ここに至る歴史を振り返るとき、時代背景や社会構造の変化と共に、保健・医療・介護・福祉分野ではさまざまな課題、難題、困難が多くあったことと思います。今、町立病院として存在し続け、住民生活の支えであり続けていることは、決して当たり前ではなく、町民の皆様のご理解、ご協力、各時代時代の諸先輩方、関係者の皆様のご尽力のおかげでありますことに、あらためて感謝申し上げますとともに敬意を表します。

実は、病院が誕生した昭和49年は、私が生まれた年でもあり、病院も50年、私も50歳ということに、何かの深い縁を感じているところです。院長の職を拝命し、この50年にわたる病院の歴史の中の一部ではありますが、関わることができ、さまざまな経験や出会いを通じて、医師として、また人としても成長する機会を与えていただいていることに感謝しています。

人がその地域で生き、生活を営んでいくうえで、また地域が持続可能であるためには、保健・医療・介護・福祉の連携・統合を基礎とした地域包括医療・ケアシステムを整備し続けていくことは不可欠な要素であり、まちづくりの根幹を支える基盤であると思います。これからも、飯南町のニーズに合った医療体制を、皆さんと一緒に作り発展させていけるよう努力していきたいと思います。

楽しさいっぱい 図書館探検

飯南町立図書館

●中央図書館 76-2160
●頓原図書館 72-0301

当館の「新着本案内」が飯南町のホームページで見られます。新着本が入り次第、随時更新します。

今後のイベント情報

●Sunday Story Time「英語でおはなし会」

ALTのダニエル先生＆ランデン先生と一緒に英語を楽しみましょう。
日本と外国の文化の違いや簡単な英単語も学べて、どなたでも楽しみながら英語に触れることができます。ぜひ親子でご参加ください。
日時 3月16日（日）10時30分～

●「一般向け雑誌リユース」

保存期間が過ぎた一般向けの雑誌を差し上げます。
※当館では、雑誌の保存期間を2年間としています。
期間 3月1日（土）～なくなり次第終了
場所 中央図書館

貸出ランキング

（小説部門）

昨年、館内で展示コーナーを作り、ご好評いただいた2023年11月～2024年9月までの年間貸出ランキングを紹介します。

第1位	「成瀬は天下を取りにいく」	宮島未奈（新潮社）
第2位	「続　窓ぎわのトットちゃん」	黒柳徹子（講談社）
第3位	「図書館のお夜食」	原田ひ香（ポプラ社）
第4位	「リカバリー・カバヒコ」	青山美智子（光文社）
第5位	「あなたが誰かを殺した」	東野圭吾（講談社）

※貸出し中の場合は予約もできます。